

山東医学高等専科学校との国際交流報告

2012年10月24日

京都医療科学大学 医療科学部 放射線技術学科

小田 紘弘

中華人民共和国、山東省済南市にある「山東医学高等専科学校」との国際交流についてご報告いたします。本学教員による放射線技術教育講座は、平成11年より毎年春秋2回、山東医学高等専科学校の学生を対象に実施されている。今年度は9月8日(土)から9月15日(土)、山東医学高等専科学校に出張し、4日間の講義および「山東省医学映像学研究所」の見学を終了し、無事帰国した。山東医学高等専科学校には、関西国際空港を出発し北京首都国際空港を経由、済南遥墙国際空港から車で30分程度である。今回、幸いなことに「反日デモ」には遭遇しなかった。

山東医学高等専科学校は、学生総数7000名程度である。放射線関連分野では1学年、300名を超え、それぞれ5つの専門分野に分かれ、その内訳は技術、医士、超音波、放射線治療、医用電子機器である。今回の受講生は2学年が対象で160名程度であった。講義内容は、デジタル画像の基礎知識、画像機器工学、診療画像技術学の基礎および最先端技術に関するものであった。授業では、1枚のスライドに10分程度を要し、スローペースで講義を行った。160名の受講生は笑顔が絶えず楽しい雰囲気のもと、真剣な眼差しで授業に臨んでくれた。今回の印象は、山東医専の学生も本学学生も受講態度は変わらず、教員が学生に対して、熱意と愛情を持って、一所懸命（質の向上を図る）に教育することが大切であると感じた。私にとって有意義な時間を過ごすことができ、この経験を本学でも生かしていきたいと考える。

今後とも本学と山東医専との学術交流を通じて、日中友好を図り国際社会の一員として教育機関の責任を果たしていきたいと考える。最後に、お世話になりました山東医学高等専科学校の秦校長並びにご通訳頂いた李萌先生に対して、心から感謝とお礼を申し上げます。



